第54回本紙選定 2019物流機械話題製品賞

受賞19社19製品 4～9面に掲載

既報（11月25日付4面）の通り、第54回本紙選定の「2019物流機械話題製品賞」が19社19製品に決定した。

同賞は物流機械製品の普及・振興を図ることを目的に1966年（昭和41年）に本紙が制定。毎年、ユーザーおよび物流機械業界で話題を集めた製品の中から①技術的な独自性②市場創造への貢献③創意工夫――のいずれかにより内外で高く評価された製品を選定し、開発企業に対して受賞記念の盾を贈呈しており、今回で54回目となる。

本紙では今回、紙上を通して受賞製品の詳細を掲載、紹介（4～9面）し、読者の参考に供することとした。

※おことわり　受賞製品の配事掲載については左表と順序が異なるので、あらかじめご承知おきください。

【受賞製品に関する問合先】
物流機械新聞社　電話03－3261－1121
FAX03－3261－1122
（担当・田尾、松原）

物流機械新聞社選定 2019物流機械話題製品賞　順不同

品名	企業名
◇カウンターバランスタイプバッテリーフォークリフト……「ALESIS（アレシス）」	三菱ロジスネクスト株式会社
◇ドラムブレーキ付きアルミ製運搬車……「軽銀カートAL600X600-DB」	株式会社カナツー
◇新型直角分岐モジュール……「Neo CrossOver」	伊東電機株式会社
◇トラックへのパレット自動積込み装置……「コンパクト型トラックローダ」	オークラ輸送機株式会社
◇ロボットストレージシステムオートストア……「新シリーズ　ブラックライン」	株式会社オカムラ
◇AGV向けワイヤレス充電システム……「D-PAD」新型モデル	株式会社ダイフク
◇新型バッテリーフォークリフト……「FE15-1」「FE18-1」	コマツ（株式会社小松製作所）
◇ピッキングシステム……「AI活用・物流向けピッキングシステム」	株式会社IHI物流産業システム
◇燃料電池フォークリフト……「1.8㌧積FCフォークリフト」	株式会社豊田自動織機
◇搬送ロボット……「TA-G」	株式会社 匠
◇フォークリフト装着用台車……「セフティカート（SAFETY CART）」	オムニヨシダ株式会社
◇無人搬送車……「AGV 500-GO」	株式会社マキテック
◇天井搬送システム……「オートランバンガードMark Ⅱ」	株式会社椿本チエイン
◇アシストスーツ……「サポートジャケットBb+FIT」	ユービーアール株式会社
◇平パレットGPS内蔵レンタルパレット……「PPH11GPS」	日建リース工業株式会社
◇次世代型超高能力垂直搬送システム……「ベルトバーチレーター」	ホクショー株式会社
◇双輪キャスター……「TSY200」	東海キャスター株式会社
◇アシスト式リフトテーブルキャデ……「プッシュキャデ」	株式会社をくだ屋技研
◇差込型直角移載ユニット……「PDU90」	株式会社協和製作所

◆搬送ロボット「TA－G」　㈱匠

㈱匠の搬送ロボット「TA－G」は、〝ヒトとロボットの共生・協働〟を目指す同社が手がけた初の国産自動搬送ロボット。

同機は床面に敷設された2次元コードをカメラセンサで読み取りながら走行する。広大な物流倉庫では作業者の元に届けるため工数の大部分は作業者が移動する時間が占めている。「TA－G」は棚の下に潜り込み、リフタ機構により棚を持ち上げて作業効率が大幅に改善するとともに、人件費も大幅に削減する。ロボットの増車も簡単で、急なアイテム数の増加にもフレキシブルに対応する。また上位システムのWMSと連携することで、より効率的なピッキングシステムの構築が可能。移載機構はリフタのほかにプラップ、コンベアなどユーザーのニーズに合わせてカスタムすることができる。

「TA－G」には「TA－G500」、「TA－G800」、「TA－G1000」の3つの型式（自己位置認識・載量800㌔、電源電GDID方式）がある。主な仕様は「TA－G500」が車体重量200㌔、車体寸法（㎜）950×750×300、最大積載量500㌔、電源電圧DC48V／24Vリチウムイオン電池、「TA－G800」が車体重量450㌔、車体寸法1100×620×900×350、最大積載量1000㌔、電源電圧DC48V／24Vリチウムイオン電池――など。

【㈱匠＝福岡県福岡市中央区長浜2－4－1、電話092－707－3620】

◆ドラムブレーキ付きアルミ製運搬車「軽銀カートAL600X600－DB」　㈱カナツー

㈱カナツーのドラムブレーキ付きアルミ製運搬車「軽銀カートAL600X600－DB」は2018年グッドデザイン賞を受賞している。

従前、物流業界では軽量化のためにプラスチック製運搬車が主流を占めていたが、最近では時代の流れとして環境問題が叫ばれ、プラスチック削減などによりプラスチックに代わる製品の開発が求められていた。そのため同社ではプラスチック材に代わる素材としてアルミ材に着目、環境循環型モデルとして最適なアルミ材の使用による近未来型運搬車をイメージしてデザインした同製品を開発した。台車の架台にアルミを使用することで、従来の樹脂製運搬車よりプラスチック材を60％削減、自重も30％削減し軽量化を実現。その結果、狭い通路やエレベーター内でも取り回せるサイズとなり、操作性も抜群で安定した走行が可能となった。「安全・安心・快適」をコンセプトにストッパー機能は上げている。

主な仕様は▽外径600×600㎜▽荷台高さ＝170㎜▽車輪径＝φ130▽後輪＝ドラムブレーキ付き▽自重＝16㌔▽最大積載質量＝200㌔。本体枠・ハンドルはアルミ製、天板はアルミ製・樹脂製・木製、環境面にも配慮しデザイン。ドラムブレーキ付き。

もナチュラルに仕上げている。

【㈱カナツー＝東京都千代田区外神田1－6－1、電話03－3253－3151】

◆新型直角分岐モジュール「Neo CrossOver」　伊東電機㈱

伊東電機㈱の新型直角モジュール「Neo CrossOver（ネオクロスオーバー）」は仕分け作業の自動化をサポートする製品。同社の主力製品であるMDRATネオ（DC24Vパワーモーバーを駆動源とする直角分岐装置F－RATの機能を踏襲し、安全性・メンテナンス性の向上を図り、IoT化を実現した画期的な新型製品。

簡単に自動化ラインが構築でき、安全で人との共働を可能にする。F－RATネオ クロスオーバーが工場・物流センターで関連機器とつながり、人手不足をサポートするための自動化を実現。更に「予知保全」「リモートメンテナンス」を可能にし、止めない搬送ラインを構築する。

特長は▽MDR駆動の完全エアーレス機構で、搬送物を上下動させない優しい直角分岐を実現▽搬送面ローラピッチ75㎜、設計で小物搬送に対応▽消耗品のキャリアホイール部を一体型のカセット式にし、メンテナンス性を向上▽インターネットにつながるIoT化モデル（idるほか、ソフトとハードPAC対応が融合しコンベヤ機能にモジュール）対応。

idPACは特化した搬送モジュールをブロックのようにつなぎ合わせ、コンベヤラインを構築するインベーションであるidPACで搬送データの技術によりコンベヤ設計に掛かる時間・費用を大幅に削減でき、物量に応じたラインの増設・移設も簡単に行える。

理、寿命診断等が行えるIoT化モデ

2019物流機械話題製品賞

理能力・エラー情報管理、寿命診断等が行える。

【伊東電機㈱＝兵庫県加西市朝妻町1146－4、電話0790－47－1115】